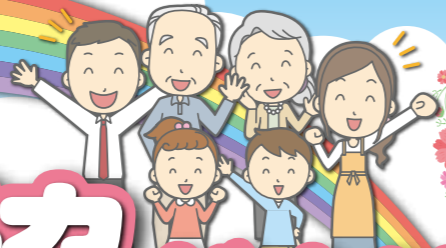




共に支えあう安心と
ぬくもりのある地域づくり



No.155

平成30年(2018)
7月1日号
年4回
(1月・4月・7月・10月)
発行

あげお社協だより

12支部社協は、一人ひとりの

ふだんのくらしのしあわせを
支えていきます。



詳細はP4へ～

編集・発行人

社会福祉法人

上尾市社会福祉協議会

会長 畠山 稔

〒362-0011上尾市大字平塚724番地

上尾市総合福祉センター内

TEL **048-773-7155**

FAX **048-772-8647**

<http://www.ageo-shakyo.or.jp/>

社協だより155号の内容

- 上尾市社会福祉協議会 平成30年度 事業計画・理事・監事・評議員紹介、平成30年度 収入・支出予算 …… P 2・3
- 12支部社協で進めるぬくもりある地域づくり …… P 4・5
- 平成30年度 上尾市社会福祉協議会会員加入のお願い・善意銀行・ボランティア基金の報告 …… P 6
- 福祉車両を貸し出します。要保護及び準要保護世帯の児童・生徒遠足費の援助について …… P 7
- お知らせ掲示板 …… P 8

この社協だよりは、共同募金配分金を活用し発行しています。

お知らせ掲示板 information

「地域支え合いサポート講座」傾聴講座（入門編）開催

傾聴を知らない人でも安心して学べるように、入門編として開催します。

● 講師プロフィール

NPO法人ホールファミリーケア協会

理事長 鈴木 絹英氏

傾聴及び傾聴ボランティア活動に関する日本の第一人者。

平成25年度内閣総理大臣「エイジレス・ライフ」実践者表彰受賞。著書多数。認知症サポートのためのキャラバン・メイト



日 時：平成30年8月30日(木)、9月13日(木)、20日(木)、27日(木) 全日程 13:30～15:30
場 所：上尾市コミュニティセンター集会室2・3 (2F)
参加費：無料
対 象：上尾市在住または在勤で地域活動やボランティア活動に関心のある方
定 員：60名 (応募多数の場合は抽選)
申 込：7月3日(火)～7月17日(火)にて電話受付します。
※詳細は上尾市社会福祉協議会ホームページをご覧ください。

問い合わせ 地域福祉課 ボランティア係 Tel 048-773-7155
8:30～17:15 月～金曜日 (祝祭日を除く)

介護支援専門員 (ケアマネジャー)募集

募集人数：若干名 (常勤嘱託職員)

資格要件：介護支援専門員証・普通運転免許証

業務内容：居宅介護支援に関する業務・請求事務等

勤務場所：上尾市総合福祉センター
(上尾市大字平塚724番地)

勤務時間：月～金曜日 (祝祭日除く)
8:30～17:15

給 与 等：月額23万円 時間外勤務手当、通勤手当等当会要綱に基づき支給



問い合わせ 在宅福祉課 訪問介護係
Tel 048-773-7827
8:30～17:15
月～金曜日 (祝祭日を除く)

平成30年度同行援護（一般課程） 従事者養成研修受講者募集のお知らせ

上尾市社会福祉協議会では、視覚障がい者に同行して、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護、排泄及び食事等の援助、その他外出時の援助について、知識及び技術を習得した同行援護従事者の養成を目的として、同行援護（一般課程）従事者養成研修を開催する予定です。詳細については、お問い合わせください。

平成30年度 同行援護（一般課程）従事者養成研修(障支第128号)

期 間：平成30年8月20日(月)23日(木)24日(金)の3日間 全20時間

場 所：上尾市総合福祉センター

対 象：上尾市内在住で、18歳から64歳までの心身ともに健康で、今後、本会及び市内事業所で、同行援護従事者として従事することを希望する方、従事することが確定している方で、かつ全課程を受講できる方。

定 員：20名 (応募多数の場合は書類選考とします)

受 講 料：5,000円 (テキスト代2,592円含む) (交通費等は自己負担)

申 込：平成30年7月2日～平成30年7月27日

※「同行援護（一般課程）従事者養成研修受講申込書」を本会ホームページよりダウンロード、もしくは在宅福祉課窓口で直接受け取り、必要事項を記入の上、持参もしくは郵送で本会へ提出してください。

問い合わせ 在宅福祉課 訪問介護係 研修担当
Tel 048-773-7827 FAX 048-779-7226
8:30～17:15 月～金曜日 (祝祭日を除く)

広告

少人数プランも
家族などの少人数プランも

チラシは数冊で
お別れに集中できたわ

片桐葬祭

KATAGIRI

0120-26-0466

年中無休
お電話は24時間対応

まずは相談してみたら
どうかしら？

さん！
そうしてあげるわ！

生活支援体制整備事業

参加賞あり

小中学生作文コンクール

～人とのつながり・地域での支え合い～

作文内容：家族・友達・学校・地域の方とのつながりや支えあいの中で感じたこと、考えたこと

〈例〉・家庭生活での出来事 ・地域のイベントに参加して
・ボランティア活動を行って ・学校生活での出来事 など

応募対象：上尾市内に在学している小学校4年生～中学校3年生

応募作品：小学生：400字詰原稿用紙 2枚以内
中学生：400字詰原稿用紙 3枚以内

応募方法：所属する小学校または中学校へ提出してください。

締め切り：平成30年9月4日(火)
※締め切りは学校ごとに異なる場合があります。

問い合わせ 地域福祉課 ボランティア係 Tel 048-773-7155
8:30～17:15 月～金曜日 (祝祭日を除く)



上尾市社会福祉協議会(社協)

平成30年度事業方針

誰もがつながりあって安心して暮らせるまち 上尾

地域の声を聞きながら (12支部の取り組み)

市内12の支部社協では、それぞれの特徴や流儀をもちながら、「おたがいさま」、「将来の自分のために」と、手づくりの活動に取り組んでいます。役員やボランティアさんは、「久しぶりのおしゃべりで、明日も、次の日も、しばらくはあったかい気持ちが続くんだよ。ありがとう。」と、ふれあった方から逆にエネ

見守りと相談の拠点を 設置しています

各支部では、見守りの調整や困りごとの相談を受け付ける場所として、12の支部拠点を運営しています。しかし、相談窓口へご本人が来られるのは一部の方でしか

つながりづくりと 専門機関への橋渡し

私たちが行う個別の支援は、近年複雑化し、制度だけでは解決の難しいことも増えてきています。特に、孤立の問題は、地域のつながりこそが解決の糸口となる場合も多くあります。「ごみ屋敷」の問題なども、地域の方々との交流や支援を得ることで、解決へ向け動き出すきっかけとなった例もあります。一方、住民の助け合いだけでは解決が困難で、支えきれない

社協の平成30年度の 地域福祉事業

「あったか見守りサービス事業」や「ふれあい・いきいきサロン」、「住民助け合いサービス

その他の主な事業

- ボランティアセンターの運営
- 福祉体験学習の支援
- 総合相談窓口の開設
- あんしんサポートねっと
- 福祉資金の貸付け
- あげお在宅サービス
- ファミリーサポートセンター

理事・監事・評議員の紹介

(平成30年6月21日 現在)

理事	会 長 山 裕	副会長 道下 文男	副会長 平田 秀明	常務理事 黒須 明	常務理事 中田 勝己	安田としみ	三井田晴宏
監事	山根真理子	中村 勝宏	本橋 宜臣	大井川 芳江	土井 孝次	嶋田 泰雄	佐伯 真介
評議員	金子 範義	宮本 利章	宮崎 年三	田中 崇	長島 喜久夫	有田 泰正	石原 暉夫
	高橋 正一	松本 晴光	栗田 尚	尾上 道雄	鈴木 照子	小野 博	関口 恭史
	西村 浩	佐々木八重子	佐藤 光明	西谷 武	福島 京子	遠山 正博	井上 禮子
	樋口 雅之	中村 聡	小國 榮一	新井 宏			

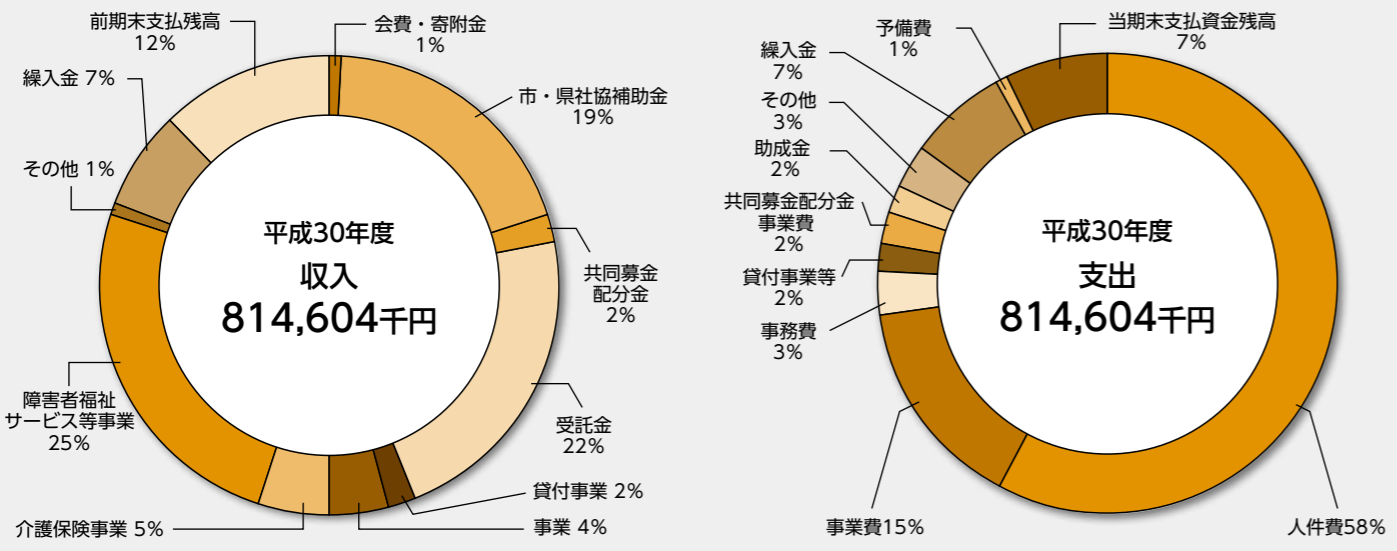


平成30年度 収入・支出予算

(単位：千円)

区 分	予算額	予算概要・重点ポイント等
社会福祉事業区分	781,788	
法人運営事業拠点区分	202,555	法人運営と地域福祉を推進するための基礎強化
地域福祉事業拠点区分	81,473	地域における見守りの強化と支えあいの仕組みづくりを重点的に事業化
受託事業拠点区分	172,423	指定管理事業および受託事業の管理運営
介護事業拠点区分	67,205	介護保険事業の推進のためより質の高いサービスの提供
障害者総合支援事業拠点区分	233,892	障がいのある方へのぬくもりのあるサービスの提供
退職手当積立金事業拠点区分	24,240	常勤職員、常勤嘱託、非常勤職員の退職手当の積立
収益事業区分	32,816	
収益事業拠点区分	32,816	売店・自動販売機の収益を法人運営するために基礎強化を図る
合 計	814,604	

予算構成比率



12支部社協で進めるぬくもりのある地域づくり!

～支部長に抱負を伺いました～

※敬称略

上尾東支部

今年の一押し!

年2回のぬくもり交流会で
コミュニケーションづくり

春はバスでのミニ旅行、秋は
美味しいものを食べながらの
交流会活動で笑顔が溢れます。

高齢者や障がい者の方々を含め、地域で自立した生活が送れるように、近隣の見守り活動を活性化し、交流し合える「ぬくもりのあふれる上尾東」の地域づくりを目指します。



金子 範義

大石支部

今年の一押し!

「地域支えあいの会」を進めて
安心とぬくもりのある
地域づくりを

それぞれの事務区ごとの見守り・サロン・子育て支援活動の普及を進めていきます。

平成29年に作成した「地域支えあい活動推進マニュアル」を基に、事務区に合った地域活動を支援し、大石地区の地域づくりが前進するよう、支部の組織や機能について検討していきます。



田中 崇

大谷支部

今年の一押し!

住民が共に
支えあい助け合う地域

ぬくもりとつながりのある地域づくりのため、地域の身近な課題やアイデアを出しあう地区社協懇談会を開催します。

「必要な人に必要なサービスが必要な時に受けられる」ことが大切です。さまざまなニーズや情報を地域で共有・一元化し、みんなで支えあい助け合えるための検討をしていきます。



有田 泰正

上尾西支部

今年の一押し!

ふれあいサロンで
地域交流と見守りを

サロン活動者の情報交換会を毎年開いて、学び合いながら楽しくやっています。

みんなが楽しく顔を合わせる機会としてサロン活動を進めています。現在、10の事務区でサロンが行われています。今後は、サロンを通じた見守り活動としても推進していきます。



平田 秀明

会長就任のあいさつ

会長 畠山 稔



平成30年4月1日より上尾市社会福祉協議会会長に就任いたしました、畠山稔でございます。

少子高齢化が進み、また、いわゆる2025年問題を間もなく迎えるというように、福祉問題はますます大きくなってきておりますが、市行政と連携して福祉向上に努めてまいりますのでご支援ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

さて、上尾市社会福祉協議会では、「第2次上尾市地域福祉計画・第5次地域福祉活動計画」に基づき、地域の人間関係、連帯感の希薄化や福祉対象者が孤立している状況への対策として、12支部社協が中心となりながら、それぞれの地域の特色のある取り組みを推進していきます。また、12支部社協では、温かなぬくもりのある互助活動として、「近隣見守り活動」と連動した住民の方に気軽に立ち寄っていただける「相談窓口の開設」や、身近な場所でのサロン活動や交流会事業等の「集う場づくり」への支援を、支部関係者皆さんの力を合わせて行っております。

社会福祉協議会の役割は益々重要になってきており、今後市民の「誰もがつながりあって 安心して暮らせるまち 上尾」の実現に向けて全力を挙げて努力する所存でありますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

原市団地支部

今年の一押し!

様々な世代の力で
活気ある地域へ

孤立化、引きこもりを防ぐために、「集いの場」を数多く開催します。

住民同士が交流を図れる集いの場を作っていきます。芝浦工業大学や上尾看護学校等との連携で、様々な世代の力を合わせて活気ある地域を目指します。



石原 暉夫

上尾南支部

今年の一押し!

小地域での交流も目的の
ひとつ!「介護予防教室」

6会場で年2回開催。体操や歌などを通して、笑顔あふれる活動で盛り上がっています。

歳末の時期に行う「カレンダー配布」や「草もち交流会」などの事業も含め、年間を通して、孤立者を増やさず、健康でいきいきと暮らせる地域を目指します。



宮本 利章

尾山台団地支部

今年の一押し!

尾山台福祉ネットワーク
で安心して暮らせる
地域づくり

みんなが安心して暮らせる地域へと、関係機関と連携していきます。

自治会・市・地域包括支援センター・UR等との連携で、包括的な地域福祉の一翼を担ってまいります。また、様々な事業を通じて、住民同士の親睦を深めていきます。



宮本 達三

平方支部

今年の一押し!

「お互い様」を合言葉にした
“支え合い・助け合い”の
仕組みづくり

分会ごとに、集いの場をセッティング!“地域のつながり”をつくりまします。

分会(事務区)ごとの交流会、サロン、だんらんの家をはじめ、様々な事業を発売に行うことで、顔を合わせる機会を増やし、地域の見守り活動として進めていきます。



中田 勝己

西上尾第一団地支部

今年の一押し!

「助けあい在宅サービス」
でお互い様の地域づくり

「困ったときはお互いさま」と、介護保険制度でも賄えない部分を支援しています。

親睦と見守りを兼ねた茶話会やおしるこ会を実施し、とても好評を得ています。これからも子どもたちや障がい者、高齢者の方々の居場所づくりに力を注ぎます。



高橋 敏子

原市支部

今年の一押し!

「地域のちいさな
たすけあい」活動の推進

「住んで良かったと思える地域」を目指して、事務区ごとの助け合いをバックアップします。

各事務区や自治区での助け合い活動の立ち上げを進めます。また、年間を通じた事業の見直しを含めて検討しながら、原市地区の福祉活動を一層盛り上げていきます。



宮崎 年三

上平支部

今年の一押し!

「たすけあい“かみひら”
で助けられ上手・助け上手に

利用する側、協力する側が会員となり、「お互い様」の和を広げます。

誰もが地域の中で自立した生活が送れるように、「困ったときはお互い様」の助け合い活動ができる地域を目指していきます。



長島 喜久夫

西上尾第二団地支部

今年の一押し!

いきいき教室(通所型サービスB)
で楽しく健康づくり

月2回実施し、体操や茶話会で交流を深めています。

地域の交流の場として、「いきいき教室」を実施しています。住民が主体的に取り組める介護予防教室を目指します。



鮫嶋 紀子

福祉車両を貸し出しします! あゆみ号

車イスのまま乗り降りができるリフト付きの車を貸し出しています。
外出や通院などにぜひご利用ください。

- ご利用できる方**
 - ・上尾市在住で、車イスを利用している方、外出に介助を必要としている方。
 - ・身体障害者団体。
- 運転者について**
 - ・利用される方が確保してください。
- 利用料金**
 - ・無料。
 - ただし、燃料費、有料道路通行料金、駐車場代は利用者負担。
- 問い合わせ**

在宅福祉課 支援係 (担当)
電話 773-8500
FAX 772-8647

利用者の声

- 病気で入院していた父。暖かくなってきたので外出を考えていました。「あゆみ号」を借りて、久しぶりにお花見! 父の笑顔もみることができて、帰りに外食もして、みんな笑顔になりました。
- 父の病院が遠方でタクシーでは経済的負担も大きいので、時々活用させていただいています。

あゆみ号
平成16年式
長さ 499cm
幅 169cm
高さ 228cm
乗車定員 8名
(うち車イス2名)



要保護及び準要保護世帯の児童・生徒遠足費等の援助について

共同募金配分金をもとに、対象となる小学生・中学生に対し援助をしています。申請書に必要事項を記入のうえ、以下のとおり提出してください。

- 〔援助行事等〕**
- 対象行事 **遠足費 (宿泊を伴わない事業)**
対象世帯 要保護 (生活保護を受給している) 世帯
援助額 小学生 実費額 (ただし上限2,000円)
中学生 実費額 (ただし上限4,000円)
 - 対象行事 **林間 (臨海) 学校費 (宿泊を伴う事業)**
対象世帯 準要保護 (教育委員会の援助を受けている) 世帯
援助額 小・中学生 実費額 (ただし上限10,000円)

※申請については当年度の行事1回とさせていただきます。

〔申請方法〕
申請書は通学されている小・中学校から対象の世帯の方に行事参加終了後、配布されます。「遠足費等援助費申請書」に必要事項を記入し、上尾市社会福祉協議会まで直接提出いただくか、右記の郵送先へ郵送してください。

- 〔提出書類〕**
- 1) 遠足費等援助申請書
 - 2) 振込先の通帳1ページ目のコピー (口座名義等確認)

〔申請書締切日〕
平成31年3月15日 (金) 必着 (随時受付)
行事終了後速やかに申請してください。

申請内容につきましては、学校に行事参加状況等の確認をさせていただきます。その後、社会福祉協議会より保護者様あてへの決定通知の郵送及び、ご指定口座への振込みをさせていただきます。
記入方法等にご不明な点がございましたら、連絡先までお問い合わせください。

問い合わせ・郵送先
〒362-0011 上尾市大字平塚724番地
上尾市社会福祉協議会 地域福祉課 総合相談係
(遠足費援助申請書在中と封筒への記載をお願いします)
TEL 048-773-7155
8:30~17:15 月~金曜日 (祝祭日を除く)

~誰もがつながりあって安心して暮らせるまち上尾~ 平成30年度上尾市社会福祉協議会 会員加入のお願い

社会福祉協議会 (社協:しゃきょう) は、地域にお住いの皆さまと「共に支えあう安心とぬくもりのある地域づくり」を推進する民間団体です。
地域福祉活動のより一層の充実を図るため、会員加入にご協力をお願いいたします。



上尾市の地域福祉活動を支えるために使われております。
例えば...
気軽に立ち寄れるたまり場で仲間づくり「地域サロン」



会員とは?
社会福祉協議会の活動に賛同していただくサポーターです。ボランティア活動などへの参加が難しくても、社協会員の会費をもって地域福祉活動への応援につながります。
※加入は強制ではなく任意です。加入の有無で特典や不利益は生じません。

- 世帯・個人会員** 1回 500円
- 団体会員 (事業所等)** 1回 5,000円
- 施設会員 (福祉施設等)** 1回 9,000円

専用の申込用紙で、指定金融機関へお振込みいただくことにより加入できます。

善意銀行・ボランティア基金にご協力をいただきありがとうございました

お預かりいたしました寄付は、有効に活用させていただきます。平成30年3月1日~5月31日受付分 (敬称略・順不同)

善意銀行 (寄付金)		
寄付者	寄付金 (円)	寄付先
上尾市民吹奏楽団	36,391	上尾市社会福祉協議会のために
ゆうなぎ 橋本武昭	23,674	上尾市社会福祉協議会のために
上尾商工会議所女性会	10,000	上尾市社会福祉協議会のために
華の舞 創作舞踊連盟	51,378	上尾市社会福祉協議会のために
読売新聞 上尾・鴻巣支部	38,930	上尾市社会福祉協議会のために
河野歌謡教室	32,710	上尾市社会福祉協議会のために
押川 富久男	30,000	上尾市社会福祉協議会のために
松澤 春雄	50,000	上尾市社会福祉協議会大谷支部のために
ひまわりシール会	9,268	上尾市社会福祉協議会西上尾第一団地支部のために
ひまわりシール会	9,268	上尾市社会福祉協議会西上尾第二団地支部のために
松澤 春雄	50,000	ピュアスマイルのために
株式会社スパンコア	35,000	こども食堂とまとのために
株式会社スパンコア	25,000	子ども食堂でんでん虫のために
匿名	10,000	こども食堂とまとのために
匿名	10,000	えだまめ子ども食堂のために

善意銀行 (寄贈品)	
寄付者	寄贈品
匿名	読書拡大器
K.I	ボックスティッシュ420箱
清川 暉子	布
コンサートホール上尾	お菓子大1箱
明治神宮崇敬会	洗濯用洗剤20セット
鈴木 隆夫	お米 15kg
浦 たまか	子供服4箱、文房具1箱
匿名	毛糸 20玉

ボランティア基金	
寄付者	寄付金 (円)
とこや たかはし	2,000
ヘアサロン YOUNG+	1,100
ヘアサロン ヒロ	1,204